

# おいしい米づくり情報 No.1

●南魚沼市 ●NOSAI魚沼 ●JA魚沼みなみ

## 「南魚沼産コシヒカリ」更なる高品質・良食味米へ向けて

今年度も米づくりの時期が近付いてまいりました。平成26年産コシヒカリの1等米比率は87.7%と前年の86.1%からわずかながら向上しました。米価下落に伴い、低コスト生産を求める必要もありますが、現状よりも「品質はより高品質」に、「食味は維持向上」を達成していかなければなりません。

厳しい農業情勢ではありますが、地域一体となり、「高品質・良食味米」の生産を目指しましょう。

### ◎ 気象変動に対応できる米づくりへ

## ケイ酸で気象に影響されない米づくりを!!

### ケイ酸の効果 1 根の水分吸収力が向上する

土壌中のケイ酸含量が高いと根の水分吸収力が向上します。

#### ☆ 高温下での効果はより顕著に！

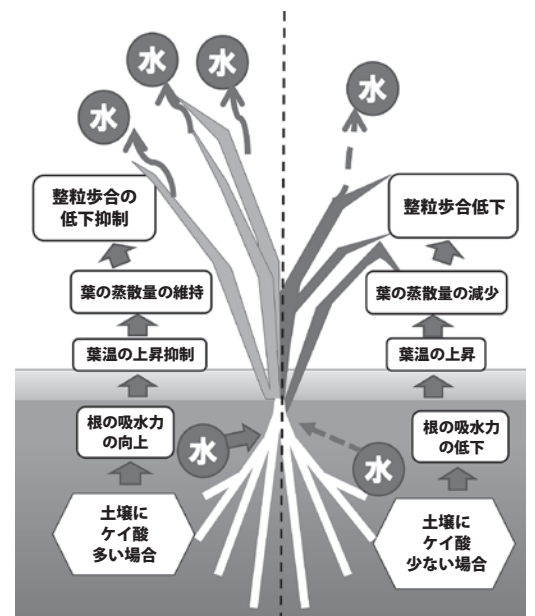
～土壌中にケイ酸が少ない場合～

- 平年の気象…根はいつも通り水分吸収を行えるため、影響は少ない。
- 高温時は …根の水分吸収力が低下し、稲体は乾燥を防ぐために蒸散を抑制する。

稲自体が熱をもち  
光合成能力の低下、登熟不良を招く。

### ケイ酸が多ければ

- 根が水分を引き上げることで、葉は通常通り蒸散を行える
- ➔ 稲体中で水分が循環し平常の温度を保つことで、光合成機能が十分に発揮される。



## ケイ酸の効果② 茎葉や稈を強くする

稲体がケイ酸を吸収することで、稲の茎葉や稈が強くなります。

- ・ 茎葉が直立し受光態勢がよくなる  
→ 光合成を促進し登熟向上を促す。
- ・ 病害虫に対する抵抗力が強くなる。
- ・ 倒伏しにくくなる。



稲に必要なケイ酸分は、もみ殻・稲わらの秋すき込みで大部分を確保できます。収穫後は積極的に秋耕起を行いましょう。

### 【ケイ酸を含む主な肥料】

※は低コスト肥料

品名	成分 (%)	標準施肥量 (10a)
ようりんケイカル23号	ケイ酸：26 リン酸：7 苦土：7	100kg～200kg
魚沼ロマンアイアンスター	ケイ酸：12 リン酸：8 苦土：5 鉄：9.5 腐食酸：6	60kg
ケイ酸加里プレミア	ケイ酸：34 カリ：20 苦土：4 ホウ素・鉄：微量	40kg～60kg
ソイルキーパー Fe ※	ケイ酸：13.5 鉄：19 苦土：1.5	100kg
スーパーシリカプレミアム ※	ケイ酸：30 苦土：2	60kg～100kg
ソイルキーパー ※	ケイ酸：26 カリ：4 苦土：4 腐食酸：4	40kg



近年、自然災害や高温等の異常気象と言われる年が続いており、米の品質の面で大きく影響を受けています。気象に左右されず、常に高品質米を生産するためにケイ酸を中心とした継続的な土づくりを行いましょう。

## ～土づくり肥料の施用と合わせて「根域の確保」を行いましょう～

- ・ 耕うん作業時は**耕深 15cm**を目標に行うことで、「根」が張る作土層が広がり良好な根域を確保できます。

※耕深を一度に深くすると、初期生育不良等を引き起こす可能性があります。毎年少しずつ深くしていき、目標の15cmを目指しましょう。

## ◎健苗を育成し、移植からスタートダッシュ

### ～作業の流れとポイント～

- 田植えから逆算して育苗計画を立てましょう。

### 作業日程目安

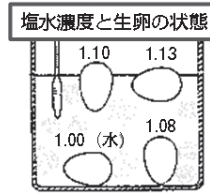
- 塩水選・種子消毒 …… 4月10日頃～
- 播種日 …………… 4月25日頃～
- 田植日 …………… 5月20日～30日頃

## ① 塩水選 (播種日から18日前頃) … 病気のない充実した種もみを選別

- ・塩水に種もみを入れてよくかき混ぜます。底に沈んだ種もみを使用しましょう。
- ・塩水選後は、種もみを水洗いしてください。

【水10ℓ当りの食塩量】

区分	比重	食塩の量
うるち・さけ	1.13	1.9kg
もち	1.08	1.1kg



種もみは10a当り3kgを目安に準備しましょう。  
※余った種もみは適正に処分してください。

## ② 種子消毒 (播種日から18日前頃) … 種子の伝染病を防除

### ○ テクリードCフロアブル剤

- ・風乾（風通しの良い日陰で自然乾燥）を行うと効果が高まります。
- ・消毒後は水洗いをせず浸種を行ってください。

消毒方法	処理の方法	備考
低濃度浸漬	200 倍液・24 時間浸漬	同一薬液は一回のみ使用可能
高濃度浸漬	20 倍液に 10 分間浸漬	同一薬液を反復利用可能
種子塗沫	原液を粉 1kg 当たり 5ml 相当塗沫	均一になるように攪拌しながら行う

【使用量の目安】

種もみの量	5kg	10kg	25kg	50kg
水の量	10ℓ	20ℓ	50ℓ	100ℓ
低濃度浸漬 薬剤量	50ml	100ml	250ml	500ml
高濃度浸漬 薬剤量	500ml	1,000ml	2,500ml	5,000ml

### ○ タフブロック

- ・水替え等は必要に応じて行うが、付着したタフブロック菌が落ちないように静かに行いましょう。

使用時期	処理の方法	使用回数
浸種時、もしくは催芽時 (浸種時の場合、最後の1～2日間に使用する)	200倍で24～48時間	1回のみ

### ○ 温湯消毒

- ・薬剤消毒と比べると効果が劣ります。可能な限り**タフブロックとの体系処理**を行いましょう。

処理の方法	注意点
60℃で10分を 厳守	<ul style="list-style-type: none"> <li>・塩水選後に処理する場合は、十分乾燥させてから行う。</li> <li>・処理温度・処理時間を正確に行わないと、十分な効果が期待できない。</li> <li>・消毒後はきれいな水で速やかに冷却。</li> <li>・温湯消毒を行った場合は、乾燥させず浸種に移る。</li> <li>・処理時間が長くなる(15分以上)と、発芽率低下の恐れがあるため注意する。</li> </ul>

**注意!!**

種子消毒液の残液、廃液は、排水路や河川などに絶対に流さないでください。

### ③ 浸種 … 発芽を促進・揃える

今年の種子の休眠は平年並みと推察されています。

- ・種もみ1kgに対して水を約3.5ℓとします。
- ・水温10～15℃、積算水温100℃を目安に行いましょう。
- ・種子消毒の効果を高めるため、前半の4日間は水を取り替えずに浸種を行います。その後はもみの酸欠を防ぐために、必ず2～3回の水の更新・上下の反転を行いましょう。



#### 重要

浸種は開始から24時間の水温が発芽率に大きく影響します。特に開始時の低水温（10℃未満）は発芽率低下の大きな要因となります。寒さにより、常時適温の維持が難しい場合でも、開始の水温に注意して24時間適温に保つことで発芽率の低下を軽減できます。

### ④ 催芽 (播種日から3日前頃) … 発芽を揃える

- ・水温30℃で1～2日間が目安です。但し、水温等により期間は前後するため、確認を行いながら均一にハトムネ状態に仕上げましょう。

### ⑤ 床土と覆土の準備・育苗期病害防除

- ・細菌性病害を防除するために、必ず農薬を混和しましょう。
- ・覆土には無肥料のものを使いましょう。

#### ●培土を使用する場合 (目安)

分類	品名	1箱当りの使用量
床土	ホーネンス培土	2.8kg
覆土	焼土(無肥料)	1.25ℓ(1.2kg)

※培土には肥料等も含まれています。

#### ●床土を作る場合 (目安)

分類	品名	1箱当りの使用量
床土	焼土(無肥料)	2.5ℓ(約2.5kg)
	ピートモス	0.8ℓ(4.5合)
	稚苗配合(N:4 P:6 K:5)	25g～30g
覆土	焼土(無肥料)	1.25ℓ(1.2kg)

#### 【細菌性病害防除】

薬剤名	規格	処理方法	適用病害名	
タチガレースM粉剤	1kg	床土混和・1箱当たり6g	苗立枯病、ムレ苗	
ダコニール粉剤	3kg	覆土混和・1箱当たり8g	苗立枯病	
カスミン	粒剤	3kg	覆土混和・1箱当たり20g	褐条病、苗立枯細菌病
	液剤	500ml	播種後、覆土前灌注・1箱当たり4～8倍希釈液50ml	苗いもち、褐条病、苗立枯細菌病

## 携帯メール会員募集!!

無料(通信料は除く)でタイムリーな生育状況や緊急情報をメールで配信しています。

登録の仕方がわからない方も、携帯を持って米穀課にお越しください。こちらで登録いたします!

登録は下記メールアドレスへ空メールを送信

[beikoku@haisin.jp](mailto:beikoku@haisin.jp)

または、右記QRコードをご利用ください。➔



ご不明な点等がございましたら JA 米穀課 (TEL777-3180) までお問い合わせください。